

こんにちは 野々市市議会です



郷公民館

花いっぱい運動

6月定例会議案審議・議決結果一覧	2P
各委員会の主な質問と答弁・視察報告	3P
6月定例会一般質問 10人	4P
高校生議会の開催結果	14P
SDGs研修報告	15P
9月定例会日程	16P

令和7年度野々市市一般会計補正予算・財産の無償貸付 日本町児童館のトイレ改修費用と 同施設の無償貸し付けの議案を併せて否決

令和7年第2回6月定例会は、6月9日から27日まで開かれました。
6月定例会では、市長提出議案11件のうち9件を全会一致で可決、承認し、2件を賛成少数で否決しました。

また、諮問1件を全会一致で適任としました。

可決された議案のうち、専決処分に係る補正予算の3件につきましては、交付金や事業の確定等による歳入と歳出の調整によるものが主であり、市税条例の改正については軽自動車税では二輪車の車両区分の見直しによる税率改正、市民税では大学生年代の子等の扶養に関する所得控除等の規定の改正、たばこ税関係では加熱式たばこの課税方式の改正が主であります。

否決された議案は、議案第36号 令和7年度一般会計補正予算（第1号）および議案第42号 財産の無償貸付の2件です。

いずれも日本町児童館の関係する議案であり、地元住民や町内会への説明がなされていない事や、付託された委員会において選定事業者との契約内容や市側が求めている事業要件に疑義があるなどの意見があり、賛成少数により否決となりました。



議 決 結 果 一 覧

○＝賛成、×＝反対
※所属会派は議決時点での会派を記載しています。
※会派等の名称：市民の会（ののいち市民の会）、共（日本共産党）、令（令和清栄）、無（無名）、公（公明）、議（議長）、副（副議長）

番 号	件 名	議 決 日	議 決 結 果	野々市フォーラム														議 長	副 議 長
				三納	田中	田中	小堀	北村	中村	中村	西村	梅野	共	令	無	公	議		
議案第32号	専決処分（令和6年度野々市市一般会計補正予算第8号）の承認について	6月27日	承 認	昭博	陽子	陽子	勝己	孝史	大助	義彦	和流	雅博	博	博	博	博	博	博	博
議案第33号	専決処分（令和6年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算第3号）の承認について	6月27日	承 認																
議案第34号	専決処分（令和6年度野々市市介護保険特別会計補正予算第3号）の承認について	6月27日	承 認																
議案第35号	専決処分（野々市市税条例の一部を改正する条例）の承認について	6月27日	承 認																
議案第36号	令和7年度野々市市一般会計補正予算（第1号）について	6月27日	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
議案第37号	非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	町の区域の変更について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	工事請負契約の締結について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	財産の取得について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	財産の取得について	6月27日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	財産の無償貸付について	6月27日	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	6月9日	適 任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

各委員会の主な質問と答弁

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

6月19・20・23・24日の4日間

Q 除雪委託の補助について、令和6年度に交付した町内会の数と金額は。

A 町内会への除雪費補助は雪害対策本部の設置が条件となるので、今回は補助金の交付はない。

Q 日本町児童館の使い道はどのようにするか。

A 宿泊施設と飲食により、新たな賑わい創出を期待する。観光に特化した新たな財源が出てきたので、この機会を逃さずにできるだけ早く整備したい。

Q 令和6年能登半島地震復興基金交付金をまちづくり事業に活用予定である。この交付金の活用できる範囲は。

A 交付金の対象事業は、新たな観光物産拠点施設の整備、宿泊施設や観光施設等の受け入れ環境の整備、ソフト事業等、幅広く使えるメニューとなっている。

Q 整備される観光拠点のトイレについては、24時間使えるのか。

A 観光者やボランティアガイドの利用、イベント等、幅広く活用できるようにしたい。宿泊施設の夜間のトイレの使用は、事業者と協議して柔軟に対応したい。喜多家住宅のトイレは、開館時間の関係により24時間の使用は難しい。

Q 日本町児童館を貸付する予定の事業者の定款に宿泊業の記載がない。載せておくべきではないのか。

A 法人登記事項の目的に宿泊業を追加するよう、事業者に定款を変更するよう指導する。

人 事

人権擁護委員
佐久間 千恵（新庄二丁目）

教育福祉常任委員会

日 程…4月23日
参加者…◎田中、○西村、三納、朝倉、向田、北村、西本

「ののいち子育てステーション」の現地視察

令和5年7月より改修及び増築工事が進められてきた「ののいち子育てステーション」を視察してきました。これまでであった中央保育園機能に、子育て支援センター（へみっで）、発達相談センター、新たにこども家庭センターを開設し、妊娠期から子育て期に渡って、子どもと子育て家族を切れ間なく支援するための拠点となるような複合施設として整備されました。

施設内は活動内容別に玄関も分けられ、室内も各センターの利用者同線が干渉しないようゾーニングされ、配慮されています。2階の発達相談センターへは自動昇降機が設置されています。また調理棟も新たに増築され、衛生管理の行き届いた場所です。子どもたちに見合った食事が用意されます。

特に新設された、こども家庭センターには期待と関心が高まります。

妊娠期から子育て期に渡って、切れ間なく子どもから、その家族にも支援される拠点になるとで、子育てに不慣れな若い世代や、近くに相談相手がない方、働きながら育児をする保護者の皆さんたちが、気軽に話ができ、不安なく市内で子育てしてもらえることが期待されます。

館内各所に石川県材の能登ヒバの集成材が使用され、よい香りに包まれてリラククス効果もありそうです。また、太陽光パネルも据え付けられ、通常電力の補助を行っている説明がありました。蓄電池からは専用のコンセントを設置して災害時に使用可能となっているそうです。

災害時対応は突然、待ったなしに始まることから、そういった事態になっても、子どもたちも保護者も安心して通えるような施設にしていかなければならないと感じました。



梅野 智恵子 議員
(のいち市民の会)

交遊舎の施設整備の方向性と活用方針について伺う

地域の皆様から寄せられるご意見ニーズを踏まえ、既存施設を最大限活用し魅力ある施設整備を進める

- Q** 駅前、野々市駅周辺のにぎわい創出と交遊舎の在り方について
- A** 建設部長 ● 平成29年度実績調査では145件確認しており、その後解体廃等の情報により、現時点では130件と推計している。平成29年度に策定された「野々市市空家等対策計画」に基づき関係部局で構成する「空家等対策協議会」を設置し、空家に係る防災、防犯、衛生、景観など課題に対応している。
- Q** 現在の「空家等対策計画」が令和9年度末に計画期間が終了することを見据えて、実態調査を経て、令和10年4月に改訂を予定している。
- Q** 管理不良の空き家などには、ハクビシン、アライグマ等有害鳥獣が住み着くなどの対策について、イノシシ、クマなど大型の有害鳥獣対策について伺う。
- A** 建設部長 ● 住み着いた有害鳥獣の対策は、本来所有者が
- Q** 交遊舎について、野々市市個別施設計画では「施設の在り方検討」最終年度にあたる。施設整備や活用方針について伺う。
- A** 建設部長 ● 平成9年に建築され、約28年経過しており、適切な改修工事をおこなうことで、耐用年数まで使用可能と判断し、安全性と機能性を確保しながら長期的な活用を図ってまいりたい。
- Q** 若者をはじめとする駅利用者、若者が気軽に立ち寄れるよう、交遊舎内にカフェの併設や民間活力の導入、店舗も視野に入れた複合的な活用を検討してはいかがか。
- A** 市長 ● 野々市駅周辺はこれまで各種イベント開催や取組から、人の集積やにぎわい創出が見込める場所であることも確認ができています。施設を改修する際にはより魅力的な施設となるように、これまでいただいた御意見などしっかり踏まえて検討してまいりたいと考えています。
- Q** 駅前の交流拠点の形成として、「野々市駅前にぎわいづくり委員会」が御経塚まちづくり会より提供



- Q** 市民協働の意識醸成、継続性の確保の観点から支援の在り方や拡充方針について考えは。
- A** 市長 ● これまでの駅前イベントでは、本市も支援を行っている。様々な方法が考えられるので、市として応援できることをこれからも行ってまいりたい。
- Q** IR野々市駅を拠点としたシェアサイクルについて、今後の方針を伺う。
- A** 建設部長 ● シェアサイクルは各公共交通機関や自家用車を補完する移動手段として多くの地域で導入されており、環境負荷の軽減や生活利便性の向上、健康促進といった多くのメリットが期待されており、本市としても実証実験の実現に向けて検討している。本市を含む中央都市圏において既にシェアサイクルを実施している金沢市から、シェアサイクルを実施する上での課題などの情報提供をいただくこととしている。まずは実証実験を実施するための課題や費用などの条件整理をしてまいりたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/YBz8yJMNqS4>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



田中 陽子 議員
(野々市フォーラム)

本市の空き家の状況と、空家等対策について伺う

「現在の空家等対策計画が令和9年度末で計画期間が終了するため、今後実態調査を経て、令和10年4月に空家等対策を改訂する予定」

- Q** 全国的に空き家が増加しているが、本市の状況はどうなっているのか。また空家対策計画の見直しの予定はあるのかを伺う。
- A** 建設部長 ● 平成29年度実績調査では145件確認しており、その後解体廃等の情報により、現時点では130件と推計している。平成29年度に策定された「野々市市空家等対策計画」に基づき関係部局で構成する「空家等対策協議会」を設置し、空家に係る防災、防犯、衛生、景観など課題に対応している。
- Q** 現在の「空家等対策計画」が令和9年度末に計画期間が終了することを見据えて、実態調査を経て、令和10年4月に改訂を予定している。
- Q** 管理不良の空き家などには、ハクビシン、アライグマ等有害鳥獣が住み着くなどの対策について、イノシシ、クマなど大型の有害鳥獣対策について伺う。
- A** 建設部長 ● 住み着いた有害鳥獣の対策は、本来所有者が

- Q** 成年後見制度の本市の利用状況、周知方法などについて伺う。
- A** 健康福祉部長 ● 成年後見制度は、認知症や、知的障害、精神障害などにより財産管理や契約行為を自身で行うことが困難な方を保護、支援するための制度で「法廷後見制度」と「任意後見制度」の2種類あり、本市では令和6年8月1日現在、前者140人、後者2人が利用されている。毎年緩やかに増加する傾向にある。
- Q** 現状の制度では、様々な問題があり、現在、国において見直しの方向で議論されているところである。福祉総務課、介護長寿課をはじめ市内各支援センターなど身近な窓口での相談ができる他、市内各所で開設されている地域サロンやコミュニティカフェなどで認知症にかかわる様々な取り組みの中に成年後見制度を周知する取り組みも有効と考える。昨年度には本市担当職員を講師にして民生委員児童委員を対象に研修を開催し周知に努めている。国における制度改正の動向にも注視しながら、分りやすく正確な情報の周知に努めていく。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/fUFVXhPI7TI>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員
(日本共産党)

施設入所者も特別障害者手当の支給対象市ホームページの誤り是正し周知を

誤解のない情報発信に努めていきたい

生活道路の除雪
除雪基準を下げて高齢者、障害者に優しいまちづくりを

Q 20歳以上で常時特別な介護を必要とする人を対象に月約3万円が支給される特別障害者手当の支給対象は、自宅のほか有料老人ホームやグループホーム、サービス付き高齢者住宅、軽費老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所に入っている人も対象となっている。しかし、市のホームページは「在宅の障害のある方」で「施設入所者を除く」としている。あきらかに誤りで、直ちに是正し、障害者福祉や介護保険の窓口、ケアマネージャー、ホームページを通じて周知徹底するよう求める。また、支給資格があると思われる人数と、現在支給されている人の人数は。

A 健康福祉部長 ● 手当の対象と思われ方には分かりやすい説明に努めるとともに、市ホームページ等で誤解のない情報発信に努めていきたい。現在、手当を受給されている方は36人で、支給資格があると思われる方の人数は把握していない。

Q 私が行っている市民アンケート等に、「ここは高齢者が多く、除雪はきつくなってきた」との。雪道で高齢者は買い物にいけない」との。障害のある息子さんのお父さんからは、「雪の捨てる場所もないし、ディサービスの送迎の車の乗り降りするのも大変」との声が寄せられている。高齢者、障害者に優しいまちづくりの一環として生活道路の除雪基準を30センチ、40センチに下げられないか。

Q 町内会による生活道路除雪費補助市長Ⅱ雪害対策本部設置期間に限定せず弾力的運用を検討

A 市長 ● 町内会除雪費補助の対象を雪害対策本部設置期間に限定することなく、弾力的に運用できないか、検討したい。

Q 市長 ● どのような支援が効果的であるか、今後さまざまな事例を参考に、さらに検討を進めていきたい。

Q 中学校における女子制服スラックス導入の検討について

A 教育長 ● 多様性を尊重する観点から制服を見直す学校が増えてきているものと認識している。

Q 今後、教育委員会としてジェンダーレス制服導入の検討や、女子制服のスラックス導入を推奨していく考えはあるか。また、制服改定時に生徒や保護者の意見を反映させる仕組みはあるのか。

A 教育長 ● 制服の見直しについては、各学校が判断する事項となるが、生徒の声や保護者の意見を丁寧に聞き取ることが不可欠。市内中学校には、校則や制服見直し検討の際、生徒の意見収集や保護者

Q ジェンダーレス制服や女子制服のスラックス導入が全国的に進んでいることについて、教育委員会はどのように認識しているか。

A 教育長 ● 多様性を尊重する観点から制服を見直す学校が増えてきているものと認識している。

Q 今後、教育委員会としてジェンダーレス制服導入の検討や、女子制服のスラックス導入を推奨していく考えはあるか。また、制服改定時に生徒や保護者の意見を反映させる仕組みはあるのか。

A 教育長 ● 制服の見直しについては、各学校が判断する事項となるが、生徒の声や保護者の意見を丁寧に聞き取ることが不可欠。市内中学校には、校則や制服見直し検討の際、生徒の意見収集や保護者

Q アンケート等で意見を把握する仕組みがある。市教育委員会としては、各学校がよりよい制服のあり方について、検討を深められるよう必要な支援を行ってまいりたい。

A 教育長 ● 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、https://youtu.be/n_Ug6e8Q4Hg

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。

PCからは、<https://youtu.be/m3vbujR2aFM>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



木谷 直子 議員
(公明)

ペットボトルキャップ回収をし、ECOキャップ運動での世界貢献の取組みを

資源回収時は困難だが、エコステーションなどで収集できないか検討する

奨学金返還支援について

Q 現在、野々市に住む若い人材を流出させない、また野々市

労働者協同組合とは
●地域づくりを仕事にする新しい働き方です。
【基本原則】
①資金を出し合う
②話し合い、組合員の意見を反映して事業・経営を行う
③組合員は、共に働く
持続可能で活力ある地域社会の実現に資することを目的としています

労働者協同組合（労協）について
まずは市職員が理解を深め、市民向けのセミナーなどで周知・普及をし、推進していくべきだ。

地域政策部長 ● その仕組みや役割について正しく理解することが重要であり、職員の理解促進に努める。厚労省が開催するオンラインセミナー等を有効活用できるよう、市民に周知し、労協の情報を広く発信し自主的な取組を推進する。

出身者のUターンを促進するためにも、奨学金返還支援制度を創設すべきである。

市長 ● どのような支援が効果的であるか、今後さまざまな事例を参考に、さらに検討を進めていきたい。

中学校における女子制服スラックス導入の検討について

Q ジェンダーレス制服や女子制服のスラックス導入が全国的に進んでいることについて、教育委員会はどのように認識しているか。

A 教育長 ● 多様性を尊重する観点から制服を見直す学校が増えてきているものと認識している。

Q 今後、教育委員会としてジェンダーレス制服導入の検討や、女子制服のスラックス導入を推奨していく考えはあるか。また、制服改定時に生徒や保護者の意見を反映させる仕組みはあるのか。

A 教育長 ● 制服の見直しについては、各学校が判断する事項となるが、生徒の声や保護者の意見を丁寧に聞き取ることが不可欠。市内中学校には、校則や制服見直し検討の際、生徒の意見収集や保護者

Q アンケート等で意見を把握する仕組みがある。市教育委員会としては、各学校がよりよい制服のあり方について、検討を深められるよう必要な支援を行ってまいりたい。

A 教育長 ● 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q ジェンダーレス制服とは

A 性別による制服の違う部分を少なくし、選択肢を広げ自由にコーディネートできる制服の考え方を。

Q 例え、スカート、スラックス、ネクタイ、リボンなど、アイテムを自由に組み合わせることができたり、シャツの色が複数あり、好きな色が選べるなどがあります。

Q 生徒の多様性を尊重し、安心して自分らしく学校生活を送るための環境整備は、本市の教育の質向上にもつながる重要な取組だと考えます。



西本 政之 議員
(令和清栄)

給付型奨学金制度などの新たな補助制度を創設せよ

先進事例や既存制度との整合性を勘案し実効性ある支援を検討する

Q 「野々市市子ども計画」は第2次総合計画の部門別計画であり、「地域福祉計画」「教育大綱」及び関連する諸計画との整合性を図りながら策定された。パブリックコメントが実施され、「若者の意識と生活に関する調査」では、「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾）ように支援」と回答した方が約77%と最も多かった。これを受けて「子どもの貧困対策の充実」が策定され、「経済状況に関わらず質の高い教育を受け、それぞれの夢に挑戦できるよう、誰もが等しく学習する機会を提供する。また、各種支援制度について、積極的な情報提供を実施する」と記された。奨学金等の情報提供は必要だが、それだけでは不十分である。奨学金を利用すると卒業後に返済が始まり、若者の貧困問題となっている。野々市市独自の返済のいない給付型奨学金制度など、子ども・若者の貧困対策として具体的に支援制度を創設すべきと考えられているか。

A 市長 ●議員提案の返済不要の給付型奨学金制度や、新たな補助制度の創設については、市に必要な取り組みとして「お金の心配

をすることなく学べるように支援する」と回答された若者の声が最も多いことを重く受け止め、他自治体の先進事例や、既存制度との整合性などを勘案しながら、実効性のある支援策について検討する。子どもや若者の貧困対策について充実を図ることは、将来の地域社会を支える人材の育成という観点からも、極めて重要な課題であると認識している。一人でひとりが将来に希望を持ち、安心して学べる環境づくりに努めていく。

Q 「子ども計画」の施策として「ヤングケアラーの実態調査と支援」が設けられた。「学校等の保育・教育機関を通じた実態把握を進めるとともに、教育と福祉の関係者が連携した支援体制を確保する」という事業内容にある通り、本市独自に実態調査を行い、具体の支援をするということでしょうか。

A 市長 ●表面化していないヤングケアラーを早期に見つけ出し、必要な支援に繋げるためには、本市独自の調査が必要となるので、プ

イバシーに配慮しながら実態調査実施に向けて準備をしていく。その結果を踏まえ、支援が必要なヤングケアラーに対しては、学校や地域福祉のネットワークを活用しながら、個別の状況に応じたきめ細やかな支援を行っていく。

Q 地域共生推進室について

A 市長 ●今年度から新たに3つの事業に取り組んでいる。「多機関協働事業」では、各支援機関の役割分担や方向性を定めプランを作成する。「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」は、長期にわたり、引きこもりの状態にあるなど、将来的な支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない方を支援する事業である。「参加支援事業」は、それぞれの対象者が社会参加の足がかりとして気軽に参加できる場や機会を創出する事業である。具体には、地域サロンの活用や、民間企業による軽度の就労体験等を想定している。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/lpu1gCHtB9s>



北村 大助 議員
(野々市市フォーラム)

不妊治療支援制度の利用状況を伺う

助成申請者数は令和5年度が61名、令和6年度は92名。その内、約半数の方が出産されている。

Q 利用状況を伺う。

A 健康福祉部長 ●助成事業の申請者数は令和5年度が61名、令和6年度が92名となっており、令和4年度に不妊治療が保険適用となったことで今後も申請される方は増加するものと見込んでいます。また、この不妊治療支援費助成事業を利用された方の内、約半数の方が出産されており、お子様を望まれる方へのとても大切な支援の一つとなっていると認識しています。今後も不妊治療支援に取り組むとともに、産後も母子の心身のケアや育児のサポートなど、安心して子育てができる環境整備に努めてまいります。

Q とりわけ好評と伺っている。今後の運営展開も含めて見解を伺う。

A 地域政策部長 ●利用状況について令和7年5月末現在の申込件数及び募集区画数に対する利用率で申し上げますと合葬墓につ

いては、施設型合葬墓は213件で10・4%、樹林型合葬墓は516件で10・3%です。また、一般墓については、壁型は143件で34・2%、芝生型は187件で40・0%、墓石型は224件で86・2%です。最も使用率の高い一般墓の墓石型については、開園直後に多くのお申込みをいただき、整備区画数を大幅に上回ったことから、令和5年3月にエリアを拡張し、さらに119区画を整備致しました。

また、運営面では令和6年能登半島地震及び奥能登豪雨で被害に被害を受けられた方の支援として、今年4月から市外在住の方にも合葬墓をご利用いただけるよう、申込資格を拡大しました。今後につきましても引き続き施設の維持管理に万全を期するとともに、市民の皆様の一歩に沿った運用の見直しを行う等、努めてまいります。

Q 無電柱化整備事業について

A 市長 ●旧北国街道の一部整備済み路線をさらに東西へ延伸していく必要があるのではないかと。市長 ●今後の東西方向の事業延伸については地元の機運の

醸成も重要であると思っているので、今後、道路改良を行う際に、合わせて事業化を検討してまいります。

Q 条例制定について

A 市長 ●条例制定している自治体は、地方自治体としてのいじめ対策を示すものであり、基本理念やいじめの禁止事項を定め、市・学校・保護者・住民等の責務や役割を明確にする共に、市や学校におけるいじめ防止基本方針の作成、いじめ問題対策連絡協議会やいじめ対策調査会の設置等について規定しているものが多いようであります。

条例の制定については今後、研究をしてまいります。何よりも大切なことは、「いじめ」が児童等の命と健やかな心身の成長や人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その命、または身体に重大な危険を生じさせる恐れのある人権侵害であるということ認識することです。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/6maBiPiUJW0>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



向田 誠市 議員

学校給食食材の高騰で食材の負担金額が増額となった場合、保護者に負担を請求するのか

昨今の物価高騰で、保護者皆様には様々な負担が多いことから、食材の高騰分については、市で負担させていただきます

Q ヤングケアラー問題について
本市に於けるヤングケアラー実態調査等をどのように行い、分析し、心身のケアに努めているのか。実態調査を行う補助金制度活用など「ヤングケアラー実態調査」に向けた関係機関との連携強化に向けた施策の展開についての考えを問う。

A 市長 ● 学業や進路選択、友人関係などに深刻な影響を及ぼす可能性があり、社会全体で早期に把握し、支援に繋げて行く必要がある重要な課題であるものと認識している。子ども・若者育成支援推進法の改正により、ヤングケアラーの定義が法律上、明確に位置付けられた。このことにより、支援の対象として明示され自治体としても必要な支援を講じる責任が明文化されており、現時点では独自の実態調査を行ってはおきませんが、関係機関からの情報収集により、早期発見に努めているところ。本市に於けるヤングケアラー実態把握を目的とした調査に関しましては、来年度の実施に向け関係部局と連携を進めてまいりたいと考えております。

Q オンラインゲーム等に対する指導や家庭内におけるルールを設け、子ども達を犯罪から守ることが必要不可欠と考える。各家庭との連携及び関係機関と連携をどのように考え、子ども達を犯罪から守るための対処策をどのように考えておられるのかを問う。

A 教育部長 ● インターネットの普及により、オンラインゲームやSNSが原因となり子どもたちが事件に巻き込まれる事案が増加しております。本市では、「生徒指導連絡協議会」を設置し、学校、教育委員会、市長部局関係課、PTA等数々の団体と児童生徒の問題行動やその他諸課題について情報交換を行い、課題の共有に努め、令和4年度より取り組んでいる「のいちデジタル・シティズンシップ教育」を通じて、責任あるICTの使い方と社会貢献の仕方を、市内小中学校の児童生徒に系統的に指導している。また、本市の各種団体で構成する「のいちっ子を育てる市民会議」から今後、学校と連携を取りながら、家庭でのメディアに関するルール作

Q 野々市町合併50周年記念式典が挙行されてから20年余りが経過、この間に野々市市に生活拠点を求められ、新しく野々市市民となられた方が一万人強となりましたが、この方々にどのような形で地区・地域の文化を継承いただくのか。

A 市長 ● 地域文化は新たな市民となられた皆さんのみならず、昔からの市民の方々にも愛着を持っていただくうえで、地域に根付いた文化は非常に大切だと考えています。中でも、世代から世代へと守り伝えらえた野々市じよんから、各地区の虫送りや、秋祭り行われる野菜神輿や獅子舞など10件を市の無形文化財に指定しており、今後も引き続き地域文化継承のため、その魅力発信を行うとともに、地域文化を次世代に伝承するために必要な支援に努めてまいりたいと思っております。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/cm3gt1tm15Q>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



中村 和流 議員
(のいち市民の会)

キャッシュレス決済の拡大予定は？

令和8年4月以降、市税納付全てをQRコード決済で可能とする

※ QRコードは、
(株) デンソーウェーブの登録商標です

Q 国は将来的にキャッシュレス比率80%を目指し、県は手数料や使用料を2026年度中にすべてキャッシュレス決済にする方針。本市のキャッシュレス決済の比率は。

A 総務部長 ● 本市の決済比率は令和6年度末で、手数料は、11・8%、市税は口座振替を含めて60・7%がキャッシュレス決済。

Q キャッシュレス決済対象範囲の拡大をどう考えるか。

A 総務部長 ● 令和8年度秋をめどに公金のキャッシュレス納付機能を実装し、準備が整った公金から対応する。

市税は、令和8年4月以降に課税となるすべての税目で、QRコード決済を可能とする予定。

Q 公立保育園の紙おむつのサブスクリプションの導入について

A 健康福祉部長 ● 昨年市立中央保育園に導入した紙おむつの定額有償サービスを他の公立保育園に拡大してはどうか。

Q 健康福祉部長 ● 現在中央保育園では園児の約3分の1

Q 市役所「ホール橋」の土日の利用について

A 総務部長 ● 市役所庁舎は公共施設ではなく、行政サービスの提供や公的業務で使う「公用施設」であり、建物の防犯及び情報セキュリティ等の安全管理の面から外部への貸借は行っていない。

Q 国は、公民館を含む社会施設の利用を、民間企業やNPO

A 健康福祉部長 ● 事業者から提案があれば協定の締結に向けて協議を進めたい。

Q 園内に備蓄された紙おむつを令和6年能登半島地震で災害支援として活用した保育園があった。紙おむつのサブスク業者との災害協定を結ぶのはどうか。

A 健康福祉部長 ● 事業者から提案があれば協定の締結に向けて協議を進めたい。



中央保育園での
おむつ・おしりふきの
保管棚

Q 市のホームページのガイドライン等に基づいた「取組み評価」の複数年の公表と改善を求める。

A 地域政策部長 ● ガイドラインは職員向けのため修正が必要で、公表に向け課題を整理検討したい。取組み評価は推移が分かるように複数年の公表を検討したい。

Q 市のホームページのガイドライン等に基づいた「取組み評価」の複数年の公表と改善を求める。

A 地域政策部長 ● ガイドラインは職員向けのため修正が必要で、公表に向け課題を整理検討したい。取組み評価は推移が分かるように複数年の公表を検討したい。

稼働率算定方法・・・稼働日数／開館日数	
●学びの杜ののいちカレード (令和6年度)	
音楽スタジオ	83%
研修室・会議室	80%
キッチンスタジオ	19%
●にぎわいの里ののいち カミーノ (令和6年度)	
ホール	93%
学習室2	55%
学習室3	51%
●野々市市文化会館フォルテ (令和5年度)	
大ホール	53%
小ホール	65%
ミーティングルーム	74%

A 市長 ● 令和6年度、カレードの来館者は年間33万人(目標30万人)。市内公民館4施設とカレードの市民学習センター合わせて約14万人(目標20万人)。フォルテは目標値はないが、大ホールは土・日曜日の稼働率が高く、平日が低い特徴があり、課題である。

などとの連携で促進するよう求めている。カミーノ、カレード、フォルテの稼働率はどの位か。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 https://youtu.be/BfQA0nVd5_0

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西村 雅博 議員
(のいち市民の会)

地域防災計画の更新について、 どの様な観点で見直すのか伺う

環境配慮や衛生環境、住宅の耐震改修 の助成と促進化などを進める

公益通報者保護の取組について

A 市長 ● 令和6年能登半島地震、震は震源域付近でマグニチュード7.3相当の地震が2回、13秒の間隔で発生したことが甚大な被害をもたらした要因の一つであると認識している。本市としては、危機管理の観点から、想定幅を広げて備える事が大切であると考えている。

Q 令和6年能登半島地震と同様に「森本富樫断層帯」と「庄川断層帯」、あるいは「邑知潟断層帯」が連動した場合の危機管理想定と防災体制が必要と考えるが市長の見解を伺う。

A 市長 ● 地域防災計画の見直しについては、安心して避難生活できる環境整備や長期生活のための衛生環境の向上、住宅の耐震改善の助成、などの新しい観点を盛り込む。

Q 令和6年能登半島地震について県が公表した「地震被害想定調査」に記載されている「森本・富樫断層帯の主な被害予測結果」を受け、地域防災計画の更新をどの様な観点で見直すのか市長の見解を伺う。

A 総務部長 ● 行政文章や会議録の作成支援など多岐にわたる。

Q 本市における生成AIを活用した庁内事務処理の具体的な事例とその効果、職員の時間外労働の削減時間について市長の見解を伺う。

生成AIの活用について

A 市長 ● 公益通報は電子メールでも受け付けをしている。ケアについても、通報者が不利益を被る事がないよう支援につとめる。

Q 今後の課題と展望について、デジタル化に伴う通報方法の多様化や通報者のケア、通報後のキャリア支援について市長の見解を伺う。

Q 「野々市市公益通報処理要綱」について、一般市民への周知方法とその効果、通報者等への支援・監督をどの様に行っているのか。

A 市長 ● これまで公益通報の受理はないが、「公益通報者保護法」や「野々市市公益通報処理要綱」についてはホームページで周知、通報窓口を市民協働課とし支援している。同課は市で対応すべき通報が判断し法令に基づき適切な措置を行う。

Q 学力テストの意義と結果についてどのように活用されるのか教育長の見解を伺う。

A 教育長 ● 児童生徒の学習意欲、生活習慣など多面的調整を行い効果的な教育指導や支援策を検討する。今後も積極的に活用情報共有し保護者・地域・学校が一体となり、子供の成長を支える事が重要と考える。

Q 情報漏洩リスクやセキュリティ対策、個人情報や機密情報の取り扱いについて市長の見解を伺う。

A 総務部長 ● 情報取扱は、細心の注意を払うよう周知徹底し、職員向けの説明会を実施し、主旨が浸透するよう取り組む。また「ガイドライン」を策定し注意すべき事項を定め周知徹底を図っている。

全国学力テストについて

第3期ののいち創生総合戦略において、 人口減少問題にどのように取り組むか

子育て世代の定住促進や住宅取得支援により、 若い世代の定住促進に取り組んでいる



小堀 孝史 議員
(野々市フォーラム)

第3期総合戦略の基本姿勢は

Q 人口減少対策として、地域産業の高付加価値化に取り組んでいる施策は。

A 市長 ● 創業支援セミナー開催や活動施設への入居支援などを通じて、既存企業の生産性向上や付加価値の高い新たな産業の創出に取り組んでいる。

Q 令和6年度満了した第2期総合戦略の基本戦略の成果は。

A 市長 ● 戦略1つ目「しごとを創る」では、企業誘致や企業支援を着実に進めたことにより、地域産業の活性化につながった。2つ目「ひとの流れを創る」では、「のいち子育てステーション」を整備し、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制を構築できた。3つ目「魅力的なまちを創る」では、土地区画整理事業における生活環境整備の向上や北国街道周辺の賑わい創出に向けた取り組みにより、関係人口とのつながりも強化してきた。

能登半島地震の教訓として拠点避難所を再定義しては如何か

Q 能登半島地震では拠点避難所が孤立化して、機能不全になる例もあった。今後、本市は拠点避難所をどのように再定義し整備を進めていくか。

A 市長 ● 第二次総合計画は、将来都市像「かがやき無限大みんなでつくる インパクトシティののいち」を実現するための長期的な方針を定めた計画です。一方、第3期総合戦略は、人口減少や地域産業の課題に特化した計画であります。両計画の協調は、重要業績評価指標(KPI)を同時期に効果な検証を行うことで連動させていきます。

Q 本市の最上位計画である、総合計画とどのように協調して取り組むのか。

A 市長 ● 市民の皆様と協働して「魅力あるまちづくり」を進めることが基本姿勢です。

総合計画と総合戦略の協調は

Q 多くのひとが、「暮らし続けたいまち」を提供する基本姿勢は。

A 総務部長 ● 拠点避難所は、自宅を失った被災者が、物資の供給、医療支援、情報提供などを受け、今後、生活再建を目指す重要な施設であると考えています。

Q 避難所運営は行政職員だけでは限界があり、自主防災士や町内会などと連携してどのように地域体制を強化していくか。

A 市長 ● 避難区防災会には「自分たちのまちは自分たちで守る」の自助の理念に基づき、資機材整備費用を支援しているほか、今年度から町内会が実施する防災訓練の活動費の支援を行っています。

避難所運営を自主防災会と連携は

Q 被災者が拠点避難所以外の場所へ一次的に避難した施設の位置付けや役割は。

A 総務部長 ● 県から公表された被害想定を検証し、本市における避難場所や役割や機能について検討する。

一次的に避難した施設の役割は

Q 被災者が拠点避難所以外の場所へ一次的に避難した施設の位置付けや役割は。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、 <https://youtu.be/-WRpfIWxFxg>



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

SDGs 研修を受講しました

「SDGs (エスディーゼーズ)」って何！

SDGs とは、「Sustainable Development Goals」(サステナブル デベロップメント ゴールズ) の頭文字の略で日本語では「持続可能な開発目標」と訳されます。2015 年 9 月の国連サミットで 150 を超える加盟国参加のもと、全会一致で採択され、「**貧困、飢餓、教育、紛争、気候変動、不平等**」等 17 項目について、2030 年までに達成すべき世界共通の目標の事を言います。野々市市においても、この活動における様々な政策を実施しておりますので、ご協力ください。

野々市市は、令和 5 年内閣府より、「SDGs 未来都市・自治体 SDGs モデル事業」に選定され、「SDGs 未来都市推進事業」として様々な取組を進めています。

議員研修の一環として、7 月 2 日に SDGs 研修を受講しました。
講師は、(株) LODU、金沢工業大学 SDGs 推進センター、金沢工業大学学生団体 SDGs Global Youth Innovators、の 3 団体でした。

始めに、SDGs の始まりや仕組み、目的、世界動向などの説明を受けました。引き続き 5 グループに分かれ、各グループでは学生が司会進行して「THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス) のいち版」を実体験する事ができました。ゲームの真の目的は、SDGs のコンセプトである「**誰一人取り残さない社会**」を実現する事であり、「**イノベーション**」によって、世の中の「**トレードオフ**」(何かを達成するために何かを犠牲にすること)の解消を目指す事が「**持続可能な開発目標**」の達成につながると考えます。引き続き市議会としても理解を深めていきます。



講習会の全景



アクションカードゲームを体験

「高校生議会」を開催いたしました！

主権者教育の一環として、次代を担う高校生に、市政や市議会への理解と関心を高めてもらうとともに、様々な意見を今後の市議会での議論の参考とすることを目的として、**高校生議員の一般質問に市議会議員全員で答弁**させていただきました。

- 令和 7 年 7 月 23 日 (水) 午後 2 時 30 分～野々市市議会 本会議場
- 石川県立野々市明倫高等学校 3 人 1 組とし、5 グループ 計 15 人
- 高校生の視点**から、日常生活において、**野々市市に望むことや改善点、疑問点**など

河上 莉緒	議員：のっティの頻度の増加について
横山 朱理	議員：学生誰でも利用できる勉強スペースの設置について
松本 紀穂	議員：信号の歩行時間の延長について
加賀谷侑那	議員：道路の渋滞改善について
大和 美晴	議員：街路樹の高さの修正について
坂口 紗奈	議員：融雪装置の増設について
瀬 森乃介	議員：公園のバリエーションの増加について
前 遥登	議員：かめはうすやユニクロの近くのアンダーパスの改善について
高瀬 怜桜	議員：横断歩道の設置について
稲林 莉瑚	議員：のっティのルート変更について
垣坂 穂佳	議員：街灯の増加について
小杉 優衣	議員：デザイン性の高い街灯の設置について
青木 友紀	議員：のっティバスの IC カードの使用について
宮向 那和	議員：自転車専用道路の設置について
野本 紘路	議員：介護施設の増加について



●当日は栗野々市市長も参加し、高校生議会について総評を述べていただきました。

●一般質問の質疑や答弁状況につきましては、You Tube にて、視聴する事ができます。

市ホームページ
「高校生議会」



●市議会といたしましても、継続して高校生議会を実施できるよう準備していきます。

野々市市議会の議会報告会を開催いたします。前回の報告会での皆さまからのご意見やご指摘を踏まえ、時間配分や進行内容など、改善すべき課題を議会改革特別委員会で協議調整を行いました。また、参加いただいた市民の皆さまと、意見交換会も実施いたします。詳細は後日市議会のホームページ等で開示いたしますので、宜しくお願いします。

開催時期：（1回目）10月又は11月 （2回目）4月又は5月

開催場所：（1回目）本町・郷地区の公民館 （2回目）富奥・押野地区の公民館

報告内容：2 常任委員会からの、決算や予算、委員会協議の内容などについて

意見交換：テーマを決め、参加者からのご意見を収集し、議員との意見交換を行います



北村 大助 議員



安原 透 議員

全国市議会議長会地方行政委員として会務運営にあたり、会の使命達成に尽くされた。

北村 大助 議員

全国市議会議長会感謝状

感謝状

市議会議員として10年、市政の振興に努められた。

北村 大助 議員

安原 透 議員

北信越市議会議長会表彰

全国市議会議長会表彰

表彰

9月定例会の予定

会期：9月1日(月)～25日(木) (25日間)



日	月	火	水	木	金	土
31	1 午前10時～ 本会議 開会 生中継	2	3	4	5	6
7	8	9 午前10時～ 本会議 一般質問 生中継	10 午前10時～ 本会議 一般質問 生中継	11 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	12 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	13
14	15	16 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	17 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	18 午前10時～ 議会改革特別委員会 午後2時～ 野々市中央公園拡張 整備事業に関する特 別委員会	19	20
21	22	23	24 午前10時～ 予算決算常任委員会	25 午後2時～ 本会議 閉会 生中継	26	27

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。
インターネットで本会議の様子を生中継しています。

